

# 元気いっぱい!!



日本赤十字社医療センター附属乳児院  
Home for Infants, Japanese Red Cross Medical Center

〒150-0012

東京都渋谷区広尾4丁目1番1号

TEL 03-3400-0147 (代) 03-3400-1311

<http://www.med.jrc.or.jp/relation/tabid/385/Default.aspx>

## 理念

私たちは、「人道・博愛」の赤十字精神を行動の原点として、子どもの最善の利益を守り、心身ともに健やかに成長できる保育看護を提供します。

私たちは、家族に寄り添い、地域との連携をはかり、親子関係の構築を支援します。



## 夏の思い出

施設長 今井 庸子

今回は当院の夏の風物詩、敷地内の2畳ほどの畑についてです。今年はトマトとオクラが植えられました。植えたのと日々の手入れは給食委員が担当、水まきは曜日ごとに各部屋の子もたちが担当しています。収穫が始まり、子どもたちの手よりも大きくて赤いトマト、トゲトゲのオクラを大切に落とさないように持つ子どもたちの姿をよく見かけるようになりました。小さな苗から育て、大きくなったら実を収穫し、それを厨房さんに直接届け、それが食事として出てくる。それを上手に職員が伝えているのと、調理が上手だからか子どもたちは驚くほど野菜をよく食べてくれています。食育の大切さを強く感じています。

さて、この原稿を書いているのは、東京オリンピック2020開催真っ最中。開会式の日ブルーインパルスの飛行が見えた！日本がメダルだ！乳児院の子どもたちの記憶に残せることって何だろう？と思うのですが、声を大にしては言えない雰囲気ではあります。こんな気持ちも数年後にはいい思い出話になることを祈る日々です。



昨年度から新型コロナウイルスの感染防止対策のため、行事の縮小や、オンライン面会の実施など乳児院でもさまざまな取り組みを行っていました。そのため、子どもたちが普段どのように生活しているのか保護者の皆様に少しでも知って頂けたらと思い、乳児院の各お部屋の紹介などをしたいと思います。



## 乳児院での行事食紹介



### <お食い初め>

大きな鯛をはじめ、お吸い物、赤飯、煮物など、  
たくさんのお椀が並びます！  
子どもたちが一生食べ物に困りませんように...

### <お弁当>

4月は行事がなかったので、厨房職員がお弁当を作ってくれました。子どもたちは、くまさんの卵サンドに大喜びでした。

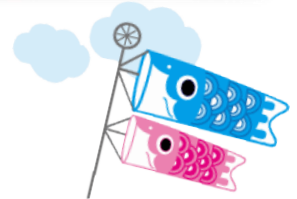


### <こどもの日>

みんなでこいのぼりの歌を歌ったり、大きな兜の前で写真を撮りました。菖蒲湯もみんな興味津々でした。



こいのぼりのオムライス  
スにおやつはこいのぼりの  
ケーキ！職員も思わず  
「すごいね」と感激しました。



### <七夕>

職員が短冊にお願いごとをかいたり子どもたちも色を塗ったりして、今年も華やかな笹の葉になりました。当日は甚平を着て写真を撮りました。普段と違う服にみんな嬉しそうに鏡を見ていました。

星形のハッシュドポテト、トマトとキュウリのサラダ、天の川をイメージしたカレーライス。

おやつは大きなメロンをくり抜いて作られたフルーツポンチ。あっという間にメロンの中は空っぽに...



### <毎月の誕生日ケーキ >

毎月 16 日にお誕生日会をします。大きな花束を手に写真をパシャリ。女の子は自分で着たいドレスを選んで着ています。男の子はスーツスタイルでピシッとカッコよく！  
ケーキも毎月違います。全て厨房職員の手作りなんですよ！

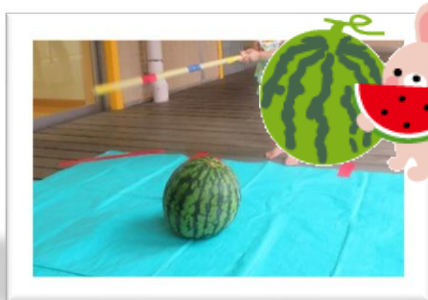
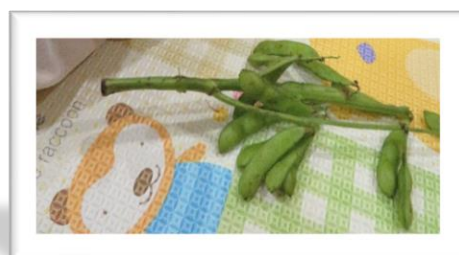


### <食育>



お部屋でフルーツチーズを作りました。  
エプロンをしてみんな気合い十分！自分たちで作ったおやつは格別だね！

枝豆を枝からちぎりました。  
みんな真剣な表情で力いっぱい引っ張って  
いました。



すいか割りをしました。

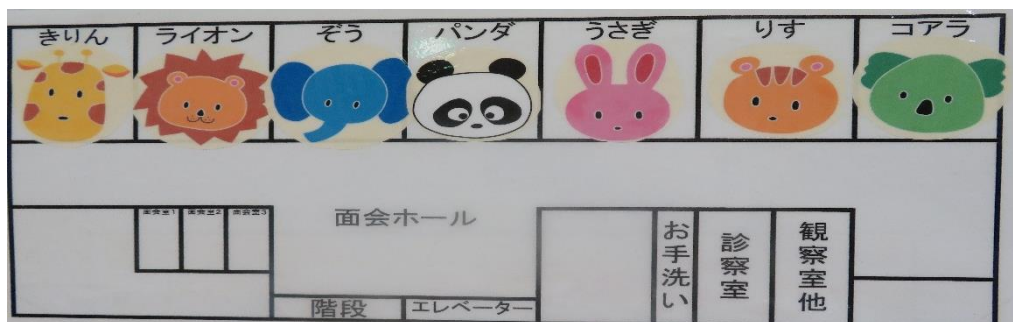


## 乳児院のお部屋紹介



乳児院には7つのお部屋があります。今回は大まかではありますが、子どもたちの生活の場をご紹介します。お子さんのお部屋はどのようになっているのか楽しんで見て頂けたらと思います。また、お子さんのお部屋が分からない場合は職員にお尋ねください。

### <保育室の見取り図>



### <こあら室>



月齢の低い子ども達が過ごしているお部屋です。まだ自分で動く事が出来ない子ども達はお部屋の真ん中に敷いたマットの上で職員とのんびり過ごしたり、抱っこを沢山してもらったりしています。動けるようになってきた子ども達はお部屋の外に興味津々で、お部屋の外に出ようと頑張っています。それを追いかける職員と追いかけるこの様子もみられます。

寝る時はそれぞれのベッドで寝ています。眠りながらニヤッと笑う子や、難しい顔をして眠る子がいたり、寝ている時にも様々な表情を見せてくれます。

### <りす室>



こあら室、うさぎ室の子ども達が遊ぶためのお部屋です。マットやトンネルなどの玩具を持ってきたりして毎日職員がセッティングしています。お部屋に比べて物が少なく、のびのびと遊べるため、子どもたちも楽しそうです。お部屋の中を探索して遊ぶ子や、玩具でじっくり遊ぶ子、お友達と一緒に遊んだり遊び方にもそれぞれの個性が出ています。

## <うさぎ室>



こあら室より少し月齢の高い子ども達が生活しているお部屋です。ハイハイが出来たり、歩く事が出来たりと、それぞれがお部屋の中で活発に活動しています。

色々なことに興味の出た子どもたち。絵本にも興味を持ち始め、読み聞かせが始まると、じっと集中して聞く姿が見られます。最近ではりす室を活用し、食事などの生活の場と遊びの場を分けて、のびのびと遊べるような工夫も行っていきます

月齢の低い子どもたちが横になったままでも入れる大きさの浴槽があります。少し月齢が高くなってくると、家庭用のバスタブに入っています。このころから少しずつシャワーに慣れる練習もしています。



## <ぱんだ室>



ぱんだ室は主にうさぎ室の子どもが初めに移動してくるお部屋です。1歳前後ぐらいになるとこのお部屋で過ごします。子どもたちはベッドを卒業し、布団で寝るようになります。

畳のお部屋にマットを引いて個人用の布団を敷いて寝ます。初めは慣れず、なかなか寝れない子どもたちも、今は「トントン」で、すぐに寝てしまいます。



お部屋の装飾は職員が行っています。季節ごとに変えたり、子どもたちが製作したものを飾ったりしています。お部屋によって雰囲気違って、見ているだけでとても楽しいです。

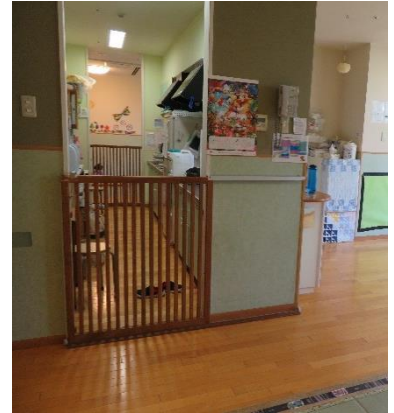


### <ぞう室>



ぞう室も基本的な造りはぱんだ室と同じです。

ぞう室とぱんだ室はキッチンで繋がっています。隣のお部屋のお友だちに「ばいばい」と手を振っている光景をよく見かけます。



### <らいおん室>



らいおん室は一番年齢が高い子どものお部屋なので「自分で出来る」ことがたくさんあります。例えば、ご飯の準備をお当番制にしています。お当番は曜日ごとに決まっております。専用のエプロンをしてお手伝いしてくれます。



台に登って自分で  
手も洗うよ！



この鞆は職員の  
手作りなんです  
よ。

お散歩に行く時は鞆を持って行くこともあります。子どもたちひとりひとりに小さい水筒があり鞆に入れて持って行きます。子どもたちもとても嬉しそうに見せてくれます。

毎日のお天気に合わ  
せてカードをまわし  
ています。



個人のぬいぐるみ入れ  
いつも一緒に寝ています。



## <きりん室>



きりん室も、らいおん室とキッチンで繋がっています。年齢が比較的高い子どもたちのお部屋ですが、まだまだ手の届く範囲に物があると危険なので収納がきちんとされています。



個人用の水筒は子どもたちが一日を通して好きな時間にお茶が飲めるようにと保育者からの意見の元、今年から新たに始めたことの一つです。夏場は特に熱中症などの危険もある為、適宜職員も声をかけて水分補給を促しています。

こあら室からきりん室まではベランダで繋がっていますが、きりん室の前は特に広く夏場はプール遊びをしたり、大活躍しています。



地面に紙を張り付けて  
絵の具でお絵描き♪



## 乳幼児ショートステイ事業



渋谷区、世田谷区、荒川区、台東区、江東区、北区から短期子育て支援事業を受託し 地域で一時的に子育てが困難な家庭のお子さんを最大7日間お預かりしています。

以前は2階の各部屋でお預かりしていましたが、昨年からの感染対策のため日中は1階奥の生活体験室を利用しています。

地域で子育てしているご家庭の方が安心して利用できるようお預かり中のお子さんの様子をきめ細かくお伝えするよう心掛けています。

お子さんがご家庭に帰った後、一時的に子育てが難しくなった場合はお住まいの地域の子ども家庭支援センターなどにご相談してください。



## 編集後記

今回は生活の様子について、お伝えさせていただきました。

次号では、遊び場の紹介などできればと思っています。このような状況下ではありますが、子どもたちは毎日元気に過ごしています。そんな子どもたちを見ると職員も頑張らなきゃと思う毎日です。

